

和光会会報No. 76

一菱電サービス (菱サ) ~三菱電機ビルテクノサービス (MELTEC) ~
三菱電機ビルソリューションズ (MEBS) 本社OB会一

◆ 年頭のご挨拶

和光会代表幹事 佐々木憲一

2024年(令和6年)の辰年がスタートしました。如何お過ごしでしょうか！
コロナは第5類に移行し安堵したものの、今度はインフルエンザの流行に見舞われました。コロナ禍のマスクや手の消毒・うがいなどは効果があつた反面、一方で日常的に外敵に触れ免疫を高める機会が減少したことにより、若年層の免疫低下が起きていますと報告されています。まさに作用と反作用が起きているかの如くです。会員の皆様にあつては困難な時期を乗り越え今が在る！と自信を持って頂きたく存じます。



世界はウクライナへの侵略戦争で始まり、ハマースイスラエルの戦争状態が勃発、社会情勢は一段と混迷を深め、それらの影響はエネルギーや物価など身近な生活まで大きく及んでいます。

会社関係では、経営統合に次いで本社組織の移転とシステムプラザの閉館などが行われました。昨年の第21回和光会総会は「和光会20周年記念」と「システムプラザでの最後の総会」という意味合いを持ちましたが、多くの会員の出席を頂き、名残惜しくも盛大な総会となりました。これには事務局&関係者、幹事の方々の多くのご支援を頂きました。本稿をお借りし感謝申し上げます。

今年の総会は、システムプラザの閉館に伴い、新たな開催場所の検討から始めています。慣例によれば、6月第2週の土曜日=6月8日(土)となるようですが、現時点では未定です。関係各所との調整が必要で難しさを感じています。本件は決定次第、会報並びに開催案内として別途ご案内申し上げます。



今年は「辰年」！天を駆け巡るという龍に倣い、大きな発展の年で有らんことを願ひ、会員の皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。加えて、お元気に総会へ足を運んでいただければ幸いです。

幹事一同、和光会活動&総会開催に向け努力する所存です。

今年も宜しくお願い申し上げます。

◆ 会員だより

1. 総会時に作品展示して頂いた作品について詳細紹介して頂きました

(1) 東山 孝幸さん

○コロナ後の絵画活動(屋外スケッチ)について

現役を引退して20年85歳を迎えるが、加齢と共に厳しい身体状況や環境の変化(免許証の返納等々)に加えてコロナによる困難が重なり、遠方の屋外スケッチは不可能な状況。

現在は近隣のスケッチや室内での活動が中心で、コロナ以前に描いた沖縄から北海道に至るスケッチ作品を参考にしつつ、臨場感を高めつつ、小作品(4~10号)を楽しく描いている。

そんな作品の中から2作品を展示しました。

＜作品名＞ 油壺の夕暮れ(4号)

三浦半島は横浜・箱根と並んで魅力的なスケッチポイントのメッカだ。

半島の先端は城ヶ島・三崎港はじめ観光地としてにぎわっているが、静かにを描くには小網代湾、諸磯湾、油壺湾等小さな入江がお気に入り、よく出かけた。

油壺湾では東大臨海実験所を描いた作品が多く、どれも普通の出来上がりの作品で何かもったいない。これを一段と魅力的な作品に仕上げることを課題として、今年 2 月に室内で描いたもので「油壺の夕暮れ」は 3,209 枚目の作品です。



＜作品名＞ 白馬連山(4号)四季折々



長野県の白馬村近辺は春夏秋冬絶景のスケッチポイントで、思い出すほど豊かな思いが走る。

なかでも大出の吊橋から五竜岳をのぞむ風景は四季折々何度描いても素晴らしい。

水彩画を始めて 20 年間の間に 8 回描いている。この作品はこれらを参考に今年 4 月小作品 4 号で描いた作品です。3,269 枚目となります。

(2) 和田 昭喜さん



＜作品名＞ タナゴ竿(並継)

① 五本継ぎ(口巻き)

- ・タナゴ竿の五本継ぎの先端部分(穂先)は真竹で、次を穂持・三番・元上はスズ竹、元はスズ竹というよう
な順番になっております。
- ・真竹を火入れしタメて真っ直ぐにしておく。そして穂先の太さを先が 0.5 mm で元の 2 寸位上が 1.5 mm で差し
込み部分が 1 mm となる様にテーパを付けて削り、リリアン又はテグスを先に付ける。塗りは生漆を 2 回、黒呂
色漆を 3 回塗り、朱合漆を同様に 3 回塗ります。
- なお、スズ竹は予め生地合せ(先端と元の並継サイズを選ぶ)し火入れと真っ直ぐになる様にタメて治す。
- ・穂持・三番・元上・元の芽が揃う様に位置合わせ、仕上げ寸法にカットし芽と袴を掃除する。
- ・口巻部分と飾り塗り部分をキシヤゲ(竹の表皮を削る事)処理し、絹糸を巻き元上・元を穂先と穂持が格納
出来る大きさにキリで抜き通す。
- ・元上・元に尻栓をする。尻栓は竹を幾重にも重ねた飾り栓が好ましい。
- ・絹糸を巻いた口巻部分と飾り巻き部及び芽に、生漆を 1 回、黒呂色漆を 3 回、朱合漆を 3 回塗る。

② 竹筒(竿ケース)

- ・竹筒は篠竹や淡竹等の丸くて真っ直ぐなものが良い。タイプは印籠仕上げ・口栓仕上げ・被せ仕上げ等が
あるが、印籠仕上げは難易度が高いが見栄えと実用性が良い。
- ・タナゴ竿が格納出来るサイズの内径と長さを切り出すが一本の竹で印籠仕上げ加工するので、切る前の
蓋側とケース側の重なり代を考慮した長さを切り出す。
- ・竹は短くタメ直す必要は無いが、竹虫に喰われない様に予め油抜きしておくが良い。蓋と底の尻栓の作り
はタナゴ竿と同様である。キシヤゲ・絹巻・漆塗り工程も同じなので省略す。

③ 竹筒(棒ヤケース)

- ・竹筒は篠竹や淡竹等で②の竿ケースと同様の工程です
- ・ヤスリのサイズは 1 mm、1.5 mm、2 mm、2.5 mm、3 mm を使用しました。

④ ボールペン(斑入矢竹・矢竹)

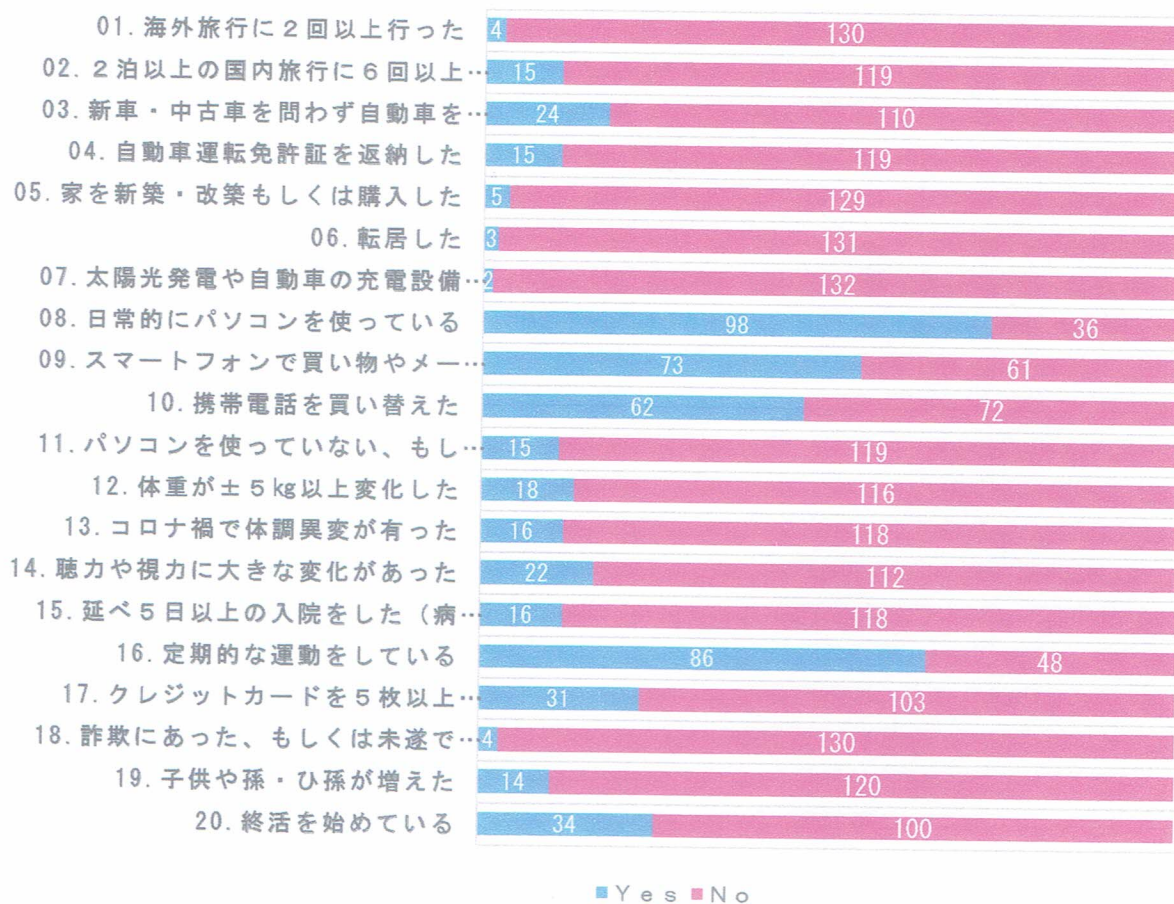
- ・市販のキャップ付きパイロットボールペンの口金と芯及びプラスチックの先端部分を使用し、キャップと本
体竹筒の印籠仕上げサイズと本体竹筒の尻サイズを同じに加工するのが大変に難しく難易度が高い。
- ・前記の絹糸巻きと漆塗りの工程でサイズが変化し、短い長さの間でテーパを付けた印籠仕上げの雌(キャ
ップ雄(竹軸)を考慮した加工(摺合せ)を細目に行いながらの細かい神経使いと漆乾燥(酸化重合反応)は
季節によって手こずる代物です。
- また、斑入りの竹は入手困難(太さのサイズが限定される)で、内径 7 mm 以下・外径 13 mm 以下と限定される
ためです。
- ・絹糸巻と漆塗りは前記と同様の工程と内容の為、省略します。
- 尚、本体竹筒への加飾として螺鈿・梨地塗り・蒔絵・金梨地塗り等に付いては本体竹筒が丸くて細いため
制作工程と材料費が高騰し趣味も大変です。

2. 和光会アンケートの集計結果について紹介します

和光会総会返信回答書の総数は 144 枚でしたがアンケート未回答者が 10 人おられましたので母数は「134」としました。

グラフではパーセント表示はしていませんが、グラフの中で「Yes」「No」を2色表示とし「数字」を記載していますので、割合の雰囲気は分かっていただけたと思います。

和光会アンケートの集計結果



質問	Yes 数	アンケート用紙回答記入分 及び 総会時にお答え頂いた内容
(質問 1)	(4 名)	今井完さん…27ヶ国廻った
(質問 2)	(15 名)	中村弘道さん…日本百名山巡りする中で旅行
(質問 4)	(15 名)	布施昌義さん…返納後の不便さは感じていない。山本修三さん…10 年前に返納 山本弘さん…9 年前に更新手続きを止めた
(質問 5)	(5 名)	坂野栄さん…居間の改修
(質問 6)	(3 名)	北本時博さん…実家の建て替え
(質問 7)	(2 名)	佐々木憲一さん…太陽光発電・充電バッテリー設備等増設
(質問 13)	(16 名)	守内章さん…入院中に院内感染したが無症状。足立正一さん…2022/8 コロナ感染 笠井宗男…コロナによるものではないが心筋症で入院予定
(質問 14)	(22 名)	原田憲一さん…右目緑内障の手術。八幡三郎さん…自転車によるケガ
(質問 15)	(16 名)	川原利昭さん…20 日間入院(ICU7 日間)。角本俊明さん…頸椎を痛め約 2 ヶ月入院 小松友雄さん…初期の肺ガン手術
(質問 18)	(4 名)	若宮きみ子さん…パソコンにウイルス感染。詐欺に気付き被害無し 守内章さん…電話詐欺 2 回あるも被害無し

◆ 事務局より

(1) MTB本社の移転について

(社名) メルテック・ビジネス株式会社

(住所) 〒131-8558 東京都墨田区堤通 1-19-9(リバーサイド隅田 3 階)

(URL) <https://www.mtb.co.jp/>

(移転日) 2023 年 11 月

(2) 和光会の連絡・問い合わせ窓口について

会社(総務人事部)の全面的な支援により、OB会の事務作業(会員との連絡、Fika!・カレンダーの送付等)を MTB に委託していただいております。MTB 側の担当は MTB 本社の総務・人事支援部(部長: 薦野 一彦)に担当していただいております。

担当: 石川 文美代 TEL 03-6657-0167(代表) FAX 03-5539-1264

E-mail: meltec-ob-wakokai_m1@mtb.co.jp

住所変更等通常の連絡・問い合わせは MTB の上記和光会担当か、和光会代表幹事(佐々木憲一)に連絡いただければ済むと思いますが、会社(総務人事部)の窓口は次の通りです。

担当: 高橋 春幸(総務人事部副部長) TEL 03-6206-5010(代表) FAX 03-3218-2990

(3) 直営保養所の利用について

MTB 本社の移転に伴い「MTB 本社保養所受付」の電話番号が変更になっています。

尚、利用料金については、2023 年 4 月 1 日付の料金のままです。

(添付資料)

- ① 直営保養所ご利用案内 2024 年 1 月修正分(1 枚)
- ② 退職者が使用する申込書(1 枚)
- ③ 施設設備一覧(2 枚: 両面印刷)
- ④ (別紙)【2023.4 改定】利用者範囲・料金区分(1 枚)

(4) 皆様の日頃の個人の活動やグループでの活動などのお便り・投稿をよろしくお願いいたします。

できましたら原稿は Word で作成していただき写真などを数点添えてメールでの投稿をお待ちしております。

042-497-9218

sasakiken-ichi@jade.dti.ne.jp

2024-1-15 和光会代表幹事 佐々木憲一